

小野市ごみ処理基本計画(案)策定に係るパブリックコメントへの意見及び市の回答

- 1. 募 集 期 間 令和 7 年 9 月 1 日(月)から令和 7 年 9 月 22 日(月)まで
- 2. 意見提出件数 6 件
- 3. 意見及び回答 下表のとおり

No.	意見	回答
1	概要版しか見ることができませんでした。ホームページをパソコンで開きましたが見られませんでした。 2023 年 2 月の小野プレスの特集でごみ問題を取り上げられています。あれから 2 年半どんな変化があったのでしょうか。 今回の基本理念を見ても新しいものは感じられません。切迫感も気概もビジョンも見えません。2022 年 12 月号の県民だよりで1人1日当たりの生活ごみの排出量が最も少ないのは加東市と知りました。(小野市は 18 位) 市長への手紙で加東市への市民の行政視察を提案しましたが費用対効果を理由に却下でした。以前にプラごみの分別回収の実験もされたそうですが費用対効果を考えてやめになったとききました。現市長にはごみを減らしたいという行政の長としての意欲はないと思います。「長」にその気がなければうまくいくとは思えません。初期投資は何を始めるにしてもかかるのではないのでしょうか。 サフになる廃食用油の回収ですが加東市では 2019 年発行のごみ分別辞典に掲載されています。回収方法も公民館を使ったりしています。回収したものの流れ、どのように有効活用されているのかも掲載されています(これは大事なことです)加東市はいちばん近い自治体ですから情報交換はされていると思いますがそれが見えません。 うちには毎年配布されるおのまつりのうちわがたくさん押し入れの奥で眠っています。毎年同じ材質のものを配っておられるのでしょうかから回収してリサイクルして下さい。Refuse できませんので、市も Reuse を考えて下さい。 小野市では 11 種類に分別しているとありました。(家庭ごみは)20 種類以上に分けている自治体もあると聞いたことがあります。 「可燃ごみには資源化可能なものが大量に含まれている」と自覚しておられるのですから資源として回収する為にはどうすればよいのか具体的に示して下さい。レシートのような小さな紙片も大きな紙袋に入れば回収できます。 プラスチックも包装容器とその他のプラとに分けて資源化しています。刈草・剪定枝の利用も書かれていますが具体的にはどのようにするのでしょうか。 コンポストの利用促進 ごみを減らす為には市民の協力が欠かせません。周知だけでは実効性は疑問です。広く市民を巻き込んで「こうすればこうなるという結果を示し」市民の意識を変えて実践につなげ未来につなげられればよいと思います。 (なぜ意見書は 9 月 12 日までで、標語は 9 月 30 日までなののでしょうか。じっくり読みこむ為にも意見書も 30 日までにしていただきたかったと思います)	令和 5 年 2 月発行の広報にてごみに関する特集記事を掲載した後のごみ問題に対する変化についてですが、これまで小野市は、ごみ処理に要する経費や分別の手間など、市民負担の軽減に重点を置いた環境施策を展開してまいりました。しかし、令和 5 年 9 月に小野市、加東市、加西市とで新ごみ処理施設建設を浄谷黒川丘陵地に整備することに合意したことを契機に、現在異なっている 3 市のごみ処理方法を統一化すると共に、ごみ処理の有料化(ごみ処理手数料を上乗せした指定ごみ袋を利用し、排出量に応じてごみ処理費用の一部をご負担頂くこと)を実施しない場合、施設整備に活用する国の交付金が削減され、小野市が事業費を約 20 億円多く負担せざるをえないことから、既に本年 3 月の市議会定例会での答弁や新聞記事にも取り上げられたように、小野市においても他の 2 市同様、ごみ処理の有料化の実施を考えています。有料化実施により、これまで可燃ごみとして排出されていた紙類についても、資源ごみとして排出頂く動機付けに繋がるものと期待しています。 また、新ごみ処理施設の整備に合わせ、新たにプラスチックごみの分別収集と再商品化(リサイクル)の実施も予定しており、小野まつりのうちわ等についてもリサイクルが可能となります。これらの取組みは、新ごみ処理施設整備に活用する国の交付金を最大限に活用し、小野市の負担を減らすために必要な取組みであるとともに、これまで「無関心」であった小野市のごみ処理について、「関心」へと転換し、市民の皆様にごみ排出量の削減に努めていただくことで、ごみ処理施設の新設及び維持管理に要する費用負担の低減につながる重要施策であると考えています。 加えて、刈草・剪定枝の資源化については、現在、堆肥としてリサイクルするため具体的な準備を進めているところです。 最後に、意見書の提出期間についてですが、より市民の方の声を頂くため、9 月 22 日まで募集期間を延長し、広く意見を伺いました。また、ホームページで閲覧ができなかった件につきましては、お申し出を受けて市も確認いたしました。正常に閲覧することができました。

No.	意見	回答
2	自治体でのごみ処理について 地域でゴミ問題について関心をもっている人を中心にあってもらって、ごみ問題を考える地域グループをつくってもらう(地域協力隊) 地域で廃品回収を計画し量を記録する。市から奨励金をもらう。 協力隊には女性の参加を求める。学習会を計画する。学習会を計画する。地域でリーダーをつくる。 まず先端をきる。モデルケースをつくってゆく。 PTA 等の集団回収時に協力隊として軽トラを用意し協力してゆく。	小野市においては、PTA 等が実施主体となり集団回収が実施されているところでありますが、集団回収量が近隣市と比較して少量であり、課題として認識しているところです。また、少子化の進展や軽トラックを所有していない家庭が増加するなど、集団回収も新たな局面を迎えています。集団回収実施にあたり市も奨励金制度を設けているところでありますが、今後、女性も参画された協力隊の編成や学習会の開催など、地域の工夫により意欲的に集団回収に取り組んで頂けるのであれば、より成果に応じた奨励金の交付となるよう、制度の見直しも検討してまいりたいと考えております。
3	1.ごみ排出量の抑制のために 小野市では、ビニールごみを燃やせるごみとして出しています。ごみ全体の大きな部分を占めているようです(29.7%)分別して資源ごみに回せないのかなと思います。 厨芥類ゴミについて 我が家では台所から出る野菜ごみなどは堆肥として処理しています。20 年～30 年程前に処理機を補助金(市から)で買って助かっています。又進める方策はいかがでしょう。 2.ごみ処理有料化について 周辺の市町が有料化を実施しているのに無料化を続けていただいているのはありがたいです。 ごみ処理有料化でごみに対する意識が高まるようなら意義があると思います。近隣の市でそれほどの効果が見られないようだったら、このまま続けてほしいです。ごみに対する意識を高めるために学校や地域で勉強会を開いたり、ごみ処理の見学をしたりして、ごみに対する意識を高めることも大事だと思います。	ごみ排出量の抑制や分別に関してですが、No.1 のご意見の回答同様、新ごみ処理施設整備向け、プラスチック類の分別収集の実施を予定しています。また、生ごみ処理機の補助制度については、ごみ減量施策の一つとして、市民の皆様のニーズがあるようでしたら、検討を行います。 また、ごみ処理の有料化については、No.1 のご意見の回答同様、ごみ減量に向けた意識改革を行っていく上で、取り組んでいく必要があると考えております。有料指定袋の価格設定にもよりますが、一般にごみ有料化実施により、ごみの減量効果が期待されています。また、ごみの有料化に取り組まない場合、施設整備に活用する国の交付金が削減され、小野市が事業費を約 20 億円多く負担せざるをえないと試算しているところです。物価高騰が続いている中、非常に心苦しいところでありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。 意識を高めるための勉強会の開催につきましては、現在、市内の小学校を中心として、小野クリーンセンター及び民間事業者の工場見学の実施や環境出前講座を行っているところであり、今後も引き続き行っていきます。
4	ごみ処理の有料化はしかたないと思います。 生活ごみと雑草を一緒に可燃ごみに出してます。 有料になると、野焼きが増えると思います。 加西市、加東市と協議の上で、同じ料金でお願いしたいと思います。	野焼きについては、農業を行う上で稲わらや畔の草を必要最小限の範囲で焼却することなど、例外的に容認されているものもありますが、原則として法律で禁止されています。現在においても、野焼きについて苦情を頂いた場合は、現場を確認のうえ、状況に応じて適切な指導をさせて頂いており、ごみ処理の有料化を実施した場合においても、現在と同様の対応をさせて頂きます。 また、ごみ処理の有料化を実施した際の有料指定袋の価格については、近隣自治体の価格水準も参考にしながら、検討を進めてまいりたいと考えております。
5	熟読しました。 小野市シルバーでは剪定ゴミはヤードにてチップ状にして自然活用しております。 新施設のクリーンセンターはよりハイテクの最高の施設を作ってほしいです。 ※バイオ発電とかメタン発電とか ※ポリ袋有料反対 常努力有難うございます	小野市においても、これまで小野クリーンセンターで焼却処分していた刈草や剪定枝のリサイクルに取り組む予定です。小野市シルバー人材センターにおかれましても、引き続き、チップに加工するなど、資源の有効活用にご尽力いただければと思います。 新ごみ処理施設については、焼却熱を活用した発電を行う予定ですが、仕様の詳細については、安定的なごみ処理や建設コスト等を多面的に検討しながら、ごみ処理施設を広域で運営する小野市、加東市、加西市の 3 市で決定してまいります。 ごみ処理の有料化につきましては、No.1、No.3 のご意見に対する回答のとおり、導入に向けた本格的な検討を進めてまいります。

No.	意見	回答
6	ごみ処理の有料化について反対意見を述べさせていただきます。計画案を拝見し、すでに有料化ありきで話が進められているような印象を受けました。そのことをまず残念に思います。昨今の処理費用の増大を鑑みれば、「仕方がない」と言わざるを得ないのでしょう。しかしながら、その積み上がった「仕方がない」によって、国民負担率が45.1%にも達し、それが経済の疲弊や国民の貧困化を招いています。昨今の国政選挙の争点が国民負担率の低下になっているこのタイミングでの、小野市のごみ処理有料化は時代の流れに水を差すような政策であると言わざるを得ません。また、「ごみを減らしたいから」という理由での有料化も浅慮であり、不法投棄が増え、各町の自治会にしわ寄せがいくことが目に見えています。そのような影響は数値には表れにくい点も全く考慮されていません。また、加東市や加西市ですでに有料化されているから、との稚拙な理由も思考停止の証左のように思います。小野市は住みやすい町・子育てしやすい町を標榜し、北播磨の各市町をリードしてきたのではないのでしょうか。安易に市民負担を検討することなく、その矜持を示していただきたい。	ごみ処理の有料化の必要性に関しては、No.1、No.3 及び No.5 のご意見に対する回答のとおりです。ごみの減量効果に加え、新ごみ処理施設整備に用いる交付金を最大限に活用するためにも必須となる取組みであると考えており、市民の皆様からの意見を頂戴しながら制度設計を行ってまいりたいと考えております。 ごみの不法投棄件数は、市民の皆様のご協力やパトロールの成果もあり、10 年前と比較して約 8 割減少しているところです。ごみ処理の有料化に伴う不法投棄増加への懸念につきましては、不法投棄は犯罪行為であるという前提のもと、引き続き厳に取り締まります。